

日付	2019年8月6日(火)	天候	晴れ
主な日程	移動 園芸店視察		
時間	研修内容	研修の写真	
7時00分 フランクフルト空港 出発	<p>ホテルで朝食をとった後、チェックアウトを済ませて、いよいよ研修の最終国であるオランダに向けて出発、フランクフルト空港にタクシーで移動しました。空港に到着後、ドイツでお世話になった通訳の岡崎さんに感謝の気持ちを伝え、最後の研修に向けて出発しました。出国、搭乗の手続きについて岡崎さんから丁寧に教えていただいたお陰でスムーズに手続きを終えることができ、無事に搭乗口へたどり着く事ができました。</p>		
10時30分 オランダ到着	<p>ドイツを出て、1時間半ほどでオランダのアムステルダム空港に到着しました。オランダでお世話になる通訳の古川さんと合流し、空港内で昼食を取りました。その後、自由に空港内のお店で市場調査や視察研究を行いました。空港内にはお土産店の他、スーパーや飲食店も入っており、スーパーには寿司も販売されていました。</p> <p>その後、ホテルまでシャトルバスで移動しました。移動の際に、流れゆくオランダの町の風景を見ていると、各家庭で花をかざっていたり、庭の手入れがしっかりしていたりする様子が見て取れました。ヨーロッパは日本と比べて、生活の一部として花を取り入れたり、花の活用が積極的に行われており、花の需要が多いことは耳にしていますが、まさにそれを目の当たりにし、実感しました。</p>	 	
15時00分 園芸店視察	<p>ホテルに荷物を置き、タクシーで近くの園芸店へ視察に行きました。町の園芸店であると聞きましたが、日本では考えられないくらいの超巨大な店舗で驚きました。店内には、園芸用品だけでなく、ガーデン用品も幅広く取り扱われており、花だけでなく、庭に置くベンチや机などの家具類、バーベキュー用品まであることに文化の違いを感じました。また、植物は様々な種類のものが販売されており、その規模は園芸店なのか生産者なのか分からないほどでした。その上で驚いたのが、それぞれの植物にあった方法で管理されていることでした。かん水方法、ベンチの種類、遮光の程度など、大規模な販売店でありながら、品種や植物の特性をよく把握して管理されている技術やシステムに驚きました。1時間以上あった視察見学の時間でしたが、お店の端から端まで歩くのに数分を要し、すべてを見て歩こうと頑張りましたが、あっという間に見学時間が終わってしまい、全てを見ることができませんでした。</p>	 	
1日を終えて	<p>同じヨーロッパでもオランダはドイツと違う文化や気候を持っているので、この国の研修もとても楽しみです。オランダは団員の個人研究テーマに関わってくる内容が多いので、それぞれがしっかりと話を聞き、積極的にどんどん質問ができる研修にしたいです。</p> <p style="text-align: right;">文責 安部 悠</p>		